

令和4年 造幣局 桜の通り抜け

令和4年4月13日(水)～19日(火)

時間 平日 10:00～20:00
土・日 9:00～20:00



今年の花

「福禄寿」

(ふくろくじゅ)

※  に咲いています



新品種の桜

「暁鐘」

(ぎょうしょう)

※  に咲いています



新品種の桜

「伊予菊桜」

(いよきくざくら)

※  に咲いています

珍しい桜



① 大手毬



② 養老桜

③ 二度桜



造幣局は、令和3年(2021年)4月に明治4年(1871年)の創業から150周年を迎えました。

造幣局 150周年

桜の通り抜けは、1883年(明治16年)に、当時の造幣局長の呼びかけにより始まりました。今回は令和になって初めての開催となります。

桜の通り抜きの桜樹の名称(◎は今年の花、○は新品種の桜、網掛けは投票対象の桜を示す) 令和4年4月現在

	品種名	本数	花の説明	主な植樹場所		
あ	あずまにしき 東 錦	2	東京荒川堤にあった大島桜系の里桜で、花弁数は15～20枚の大輪の優雅な品種です。花は淡紅色で、つぼみは濃紅です。	南 P-8	北 D-32	
	あまぎよしの 天城吉野	1	大島桜を母、江戸彼岸を父として交配した桜で、花は一重で、白色の大輪です。	北 A-19		
	あま がわ 天の川	3	東京荒川堤にあった里桜で、樹姿がほうき状となり、淡紅色の花が上向きに咲く珍しい品種です。花弁数は10～20枚です。	南 K-6	北 H-8	
	あまやどり 雨 宿	2	東京荒川堤にあった桜で、葉かげに垂れて咲く形があたかも葉かげに雨をよけているように見えるのでこの名があります。つぼみは淡紅色、花は白色、花弁数は10～15枚です。	北 D-29	北 O-11	
	あやにしき 綾 錦	1	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が「松前早咲」の実生の中から選出育成したものです。花は淡紅色の大輪で花つきがよく、花弁数は30枚弱です。	南 G-1		
	あり あけ 有 明	1	淡紅色の花で、八重と一重が混じって咲く大島桜系の里桜で、芳香に富んでいます。	北 J-14		
い	いずさいふくじしだれ 伊豆最福寺枝垂	2	静岡県伊豆市の最福寺にある桜です。枝は垂れ下がり、花は開花すると白色になります。花は大きく、その昔、満開の頃には、対岸の清水方面から見えたとの話があります。	南 H-3	北 L-1	
	いちはらとら お 市原虎の尾	3	京都洛北市原にあった桜で、その咲く有様は、虎の尾のようで、花は淡紅白色で、花弁数は30～40枚です。	南 O-3	北 D-36	
	いち よう 一 葉	3	東京荒川堤にあった里桜で、花芯から1本の葉化した雌しべがあるのでこの名があります。花は淡紅色で、花弁数は25枚程あり満開時には白味がかります。	南 D-8	南 F-4	北 A-17
	いつかやま 早晚山	1	東京荒川堤にあった里桜で、花は大輪、花弁の先端に深い切り込みがあるのと花弁の中央に紅の縦線が入るのが特徴で、花は淡紅色を帯びた白色です。	北 D-14		
	いとくり 糸 括	2	江戸時代から知られている里桜で、糸で括ったように束状に花が咲くのが特徴です。花は淡紅色で、花弁数は10～15枚です。	南 C-5	南 O-1	
	いも せ 妹 背	5	花は濃淡になった紅色で、時に一つの花に実が二つ、対になってつくことから、この名が付けられました。花弁数は30枚程あり、二段咲きが見られます。	南 N-9	北 D-27	北 J-20
	いようすずみ 伊予薄墨	1	松山市西法寺に原木のある桜で、花は淡紅色で、花弁数は10～20枚あり、小輪咲きの優雅な里桜です。	北 C-11		
○	いよきくざくら 伊予菊桜	1	原木は四国の松山にあり、低木で金沢、能登に多い、菊咲きの桜です。よく茂った葉間に花をつけ、数は余り多くなく、花弁数は大小合わせて100～130枚程度です。	南 H-5		
う	う こん 鬱 金	4	古くから知られた桜で、江戸時代に京都知恩院に植えられていたといわれ、樹姿は直立高木で、花は淡黄緑色のショウガ科のうこんの根の色に似ていることから、この名が付けられました。花弁数は10～15枚です。	南 B-21	南 N-7	北 D-20
	うじょうしだれ 雨情枝垂	1	詩人の野口雨情氏の邸内(現在の宇都宮市鶴田町)にあったことから、この名が付けられました。花は淡紅色で、花弁数は20～26枚です。	北 L-3		
	うず ざくら 渦 桜	1	東京荒川堤に元々あった桜とされており、花名は、しわのある花弁が渦を描くように、ややらせん形に並ぶことから名付けられたものです。淡紅色の八重咲で、花弁数は30枚程です。	北 A-29		
	うら わ 浦 和	2	浦和の桜愛好家が育成した品種で、花は淡紅色です。	北 J-9	北 M-8	
え	えいげんじ 永源寺	1	滋賀県の永源寺の境内にあった里桜でこの名が付けられました。花は香りがやや強く淡紅色から白色に変わり、大輪で下垂します。	南 L-3		
	え ど 江 戸	2	江戸に多く植栽されていたので、一名「あづま桜」といわれています。花は淡紅色で、花弁数は15枚程あり、大輪で多数密生し、やや垂れ下がって咲きます。	南 L-2	北 K-2	
お	おおさわざくら 大沢桜	2	京都嵯峨野の大覚寺境内にある大沢池畔にあった非常に美しい淡紅色八重で、花弁数は15～18枚の優雅な里桜です。	南 C-17	北 D-4	
	おおしまざくら 大島桜	1	伊豆七島などに自生する桜で、花は大きく一重の白色で芳香があります。潮風煙害に強い品種です。	北 F-5		
	おおぢょうちん 大提灯	3	球形の大輪の花が提灯のようにぶら下がって咲きます。花は淡紅色を帯びた白色です。	南 E-7	北 F-8	
	おおてまり 大手毬	3	多数の花が枝の先に密生して咲き、大きい手毬の状態となることから、この名が付けられたといわれています。花は中輪の淡紅色で花弁数は20枚程です。	南 B-20	南 I-9	北 A-30
	おくみやこ 奥 都	2	咲き始めは淡紅色ですが、満開時には白色となります。直径4～4.5cm、花弁数は20枚の八重桜です。	南 C-11	北 D-7	
	おむろありあけ 御室有明	1	京都御室の仁和寺にある代表的な里桜で、足もとから淡桃白色の花が咲き、低木状をなしています。一重八重の優雅な品種です。	南 B-11		
	おもいがわ 思 川	1	栃木県小山市の修道院にあった十月桜の種から育成された桜です。修道院の下を流れる川の名にちなんで、この名が付けられました。花は淡紅紫色で、花弁数は6～10枚です。	北 O-3		

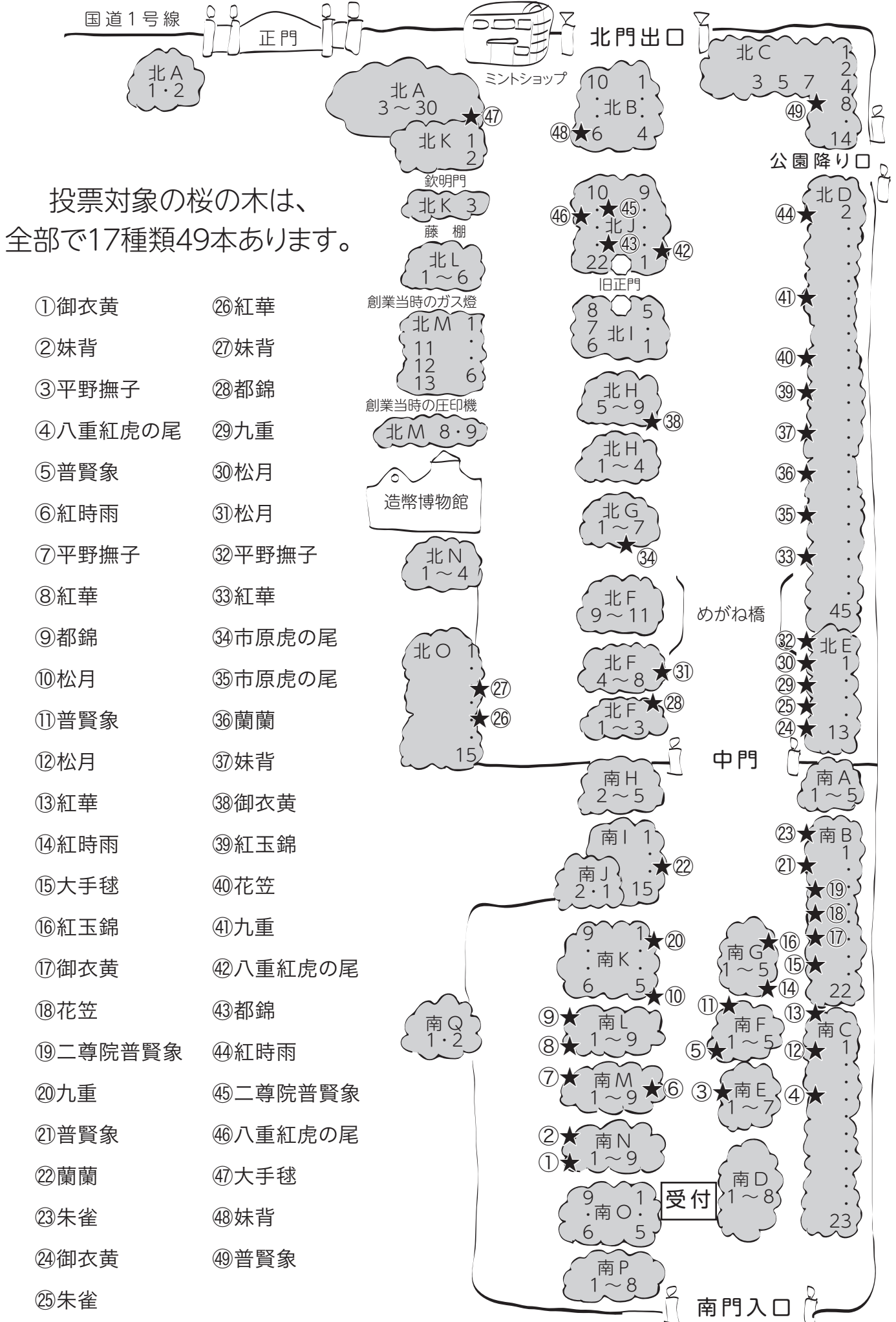
	品種名	本数	花の説明	主な植樹場所		
か	かすがい 春日井	3	奈良春日山の麓にあった桜を京都の佐野藤右衛門氏が接木育成した桜です。花は淡紅色で、花弁数は15～20枚の里桜です。	南 F-3	南 O-8	北 H-4
	かまたりざくら 鎌足桜	3	千葉県君津郡鎌足村(現在の木更津市)に古くからある桜で、花弁数は30～40枚あり、花弁の先が細く屈曲して鎌形をしています。花は淡紅色です。	北 D-10	北 I-5	北 J-8
	かんざくら 寒桜	1	寒緋桜と山桜の雑種といわれ、花は一重の淡紅色で、3月上旬に他の桜に先駆けて咲き始めます。	南 N-3		
	かんざしざくら 簪桜	1	京都の佐野藤右衛門氏が東北の旅の途中、見つけた桜で、花が婦人のかんざしに似ているところから、この名が付けられました。花は淡紅色で、花弁数は14～31枚です。	北 G-6		
	かんざん 関山	60	明治初年東京荒川堤の桜として有名になった桜で、花は濃紅大輪で、花弁数は30枚程です。	南 B-9	南 I-13	北 D-8
	かんとありあけ 関東有明	1	関東にあった有明桜で、淡紅白色の大輪の優雅な花です。	南 C-16		
き	ぎおうじぎじよざくら 祇王寺祇女桜	2	京都祇王寺にある桜で『平家物語』の祇王祇女にちなみ、この名が付けられた優雅な桜です。花は淡紅色で、少し芳香があり、花弁数は15枚程です。	南 N-1	北 F-1	
	きくざくら 菊桜	2	花弁数が100～200枚と非常に多く、菊の花に似た優雅な桜です。花は淡紅色です。	南 A-5	北 A-26	
	きざくら 黄桜	1	樹姿は直立形、花は黄色で花弁数は10～15枚を有し、花径約4cmもある大輪の八重です。	北 D-3		
	きぬがさ 衣笠	2	京都平野神社境内にあった一重桜で、花は淡紅色です。神社の後方には、衣笠山と呼ばれる山があり、発祥地との説もあります。	南 K-1		
	きぶねうずざくら 貴船雲珠桜	1	京都洛北の貴船にある雲珠桜で、明治初年に鞍馬寺から拝領したものと伝えられています。花は一重で淡紅色の清楚な桜です。	北 B-9		
	ぎょいこう 御衣黄	5	花は黄緑色で、開花が進むにつれて花弁の中心に紅色の縦線が現れる大変珍しい品種で、花弁数は15枚程度です。	南 B-18	南 K-7	北 H-5
○	ぎょうしょう 暁鐘	1	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が「龍雲院紅八重桜」に「糸括」を交配して育成した品種で、花弁数が多く明るい感じの花を咲かせます。	北 D-18		
	きりがや 桐ヶ谷	2	鎌倉桐ヶ谷にあった大輪の花で、紅色の一重八重の美しい品種です。	南 L-1	南 M-5	
	きりん 麒麟	2	東京荒川堤にあった里桜で、花は濃紅紫色で、花弁数は30～35枚の気品の高い品種です。	北 D-11	北 O-6	
<	くしまざくら 玖島桜	1	長崎県大村公園(玖島城跡)発祥の桜で、1本の木に咲く花の約半数が二段咲きです。二段咲きとならない花は普賢象に似ますが、花弁数は約40～50枚です。	北 I-8		
	くるだひやくねん 黒田百年	2	京都府京北町の黒田神社境内にあった名桜で、京都の佐野藤右衛門氏によって、接木し育成され、明治100年を記念する意味も含め、この名が付けられました。	南 I-3	北 A-11	
け	けんろくえんきくざくら 兼六園菊桜	2	金沢兼六園にある有名な桜で、花弁数は多いもので300～350枚あり、日本で花弁数の最も多い珍しい桜です。原木は天然記念物に指定されていました。花は淡紅白色です。	北 A-14	北 A-27	
こ	こうか 紅華	4	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が実生の中から選出した桜で、濃紅色の花が密生して咲き、咲き方が華やかであるところから、この名が付けられたといわれています。花弁数は30～40枚です。	南 L-5	北 D-45	北 O-12
	こうだいじ 高台寺	1	京都洛東高台寺の玄関口にある桜で、花は淡紅白色、花弁数は10～15枚の優雅な大輪の桜です。	南 G-3		
	こうふく 幸福	2	北海道松前町法幢寺にあった八重桜の種子から誕生した桜です。花は淡紅色で、花弁数は15～20枚です。	北 D-35	北 J-7	
	ここのえ 九重	3	大島桜系の里桜で、花は淡紅色で、内側も外側も花びらが同色の美しい桜です。	南 K-2	北 D-13	北 E-7
	ござまにおい 御座の間匂	1	東京荒川堤にあった品種で、花に香りがあり、花弁数は10～15枚です。	北 M-1		
	ごしんざくら 御信桜	3	京都の佐野藤右衛門氏が作出した桜で、西本願寺元門主の大谷光瑞氏が命名したという。花は淡紅色で、花弁数は30枚程です。	北 D-28	北 E-6	北 J-5
	こちょう 胡蝶	2	京都御室仁和寺にあった桜とされており、花名は、満開時に蝶の舞い集う趣によります。淡紅色の一重咲又は八重咲で、花弁数は5枚ないし10枚程です。	南 D-6	北 C-10	
	こでまり 小手毬	1	多数の花が枝の先に密生して咲き、花は小さい手毬の状態となるところから、この名が付けられました。花は中輪の淡紅色です。	北 J-10		
	ごてんにおい 御殿匂	3	花の色は紅紫色です。つぼみは濃紅紫色で開花とともに花弁の内側から淡紅紫色となり、弁端は紅紫色が残ります。花弁数は15～20枚です。	北 M-3	北 M-4	北 O-13
	ことひら 琴平	2	香川県琴平神社(金刀比羅宮)境内にある山桜系の桜です。花は微淡紅色で、後に白色となり、花弁数は6～15枚です。	南 A-4	北 O-15	

	品種名	本数	花の説明	主な植樹場所		
	こまつなぎ 駒 繫	1	親鸞聖人が駒をつないだと言われている有名な桜で、花は白色帯紅の大輪一重で、太白に似ています。	南 B-14		
さ	さくなみやま 作並山	1	淡紅色の八重咲きで、花期は4月下旬とかなり遅い品種です。	北 H-7		
	ささがおしどりざくら 笹賀鴛鴦桜	1	原木は長野県松本市笹賀地区にあり、百瀬氏が自宅で栽培していた大島桜の種子より育成選抜されたという桜です。葉や花の特徴から、大島桜にオシドリザクラが交雑したものと推定され、花は淡紅色で、花弁数は50～60枚です。	北 B-4		
	ささべざくら 笹部桜	2	水上勉氏の小説『桜守』のモデルとなった笹部新太郎氏が、実生の中から選出育成した桜です。直立高木で成長が早く、花は淡紅色で、花弁数は14枚程の中輪です。	南 N-4	北 D-25	
	さのざくら 佐野桜	1	京都の佐野園において、山桜の実生約1万本中から八重の優秀な花が咲いたので、牧野富太郎博士がこの桜を佐野桜と命名しました。花は開花が進むと白色となります。	南 B-3		
し	しおがまざくら 塩竈桜	2	仙台塩竈神社にあった八重桜で、大輪の花が密生して咲きます。花は淡紅色で花弁数は35～50枚で縦しわがあり、先端は切れ込みが多く、雌しべが緑色葉化しています。	北 B-3		
	しずか 静 香	2	北海道松前町で、「天の川」と「雨宿」との交配から選出育成された桜です。色は白色で、花弁数は15～20枚あり、芳香があります。	南 D-2	南 M-1	
	しだれざくら 枝垂桜	2	彼岸桜の突然変異品種で、幹の高いところから枝が横に広がりそれより細い枝が長く垂れ下がって大変優美です。花は一重の淡桃色です。	北 L-5		
	しばやま 芝 山	2	東京荒川堤にあった一重の桜で、つぼみは極淡桃色で、開花後白色となり少し香りがあります。	北 F-7		
	じゅうがつざくら 十月桜	1	4月上旬頃と10月頃の年2回開花し、花弁数は10～20枚です。	北 I-6		
	じゅうろくにちざくら 十六日桜	1	松山市の龍隠寺(廃寺)にあった桜で、桜花を見ずに死ぬのは心残りという病父の望みをきいて、孝子吉平が桜に祈念したところ、旧暦正月16日というのに桜を咲かせたという伝説のある桜です。花は、白色で一重の里桜です。	北 M-13		
	しゅじゃく 朱 雀	3	昔、京都朱雀にあった有名な桜で、直径約4cm、花弁数は10枚程あり、花は淡紅色で、外弁はやや濃紅、やや垂れ下がって咲きます。	南 B-1	北 A-18	北 E-10
	じゅうずかけざくら 数珠掛桜	2	新潟県京ヶ瀬村(現在の阿賀野市)の梅護寺にある桜で、花は淡紅色菊桜系で、親鸞聖人が桜の枝に数珠をかけたという故事から、この名が付けられました。花弁数は200枚程です。	南 I-4	北 J-21	
	しょうき 鐘 馱	2	東京荒川堤にあった桜です。	南 D-1	北 O-9	
	しょうげつ 松 月	8	東京荒川堤にあった名桜で、平野神社の平野撫子に似ています。花は最初淡紅色で、次第に白色となり、花弁数は25枚程で、葉化雌しべがあります。	南 O-7	北 E-5	北 F-2
	しらゆき 白 雪	2	東京荒川堤にあった里桜系の名花で、花は白色の一重で、花つきが多い優美な品種です。	北 A-16	北 F-11	
	しろたえ 白 妙	2	東京荒川堤に移植された大島桜系の里桜の一種で、花は白色の大輪で、花弁数は10～15枚です。	北 B-2	北 G-5	
	しんでん 心 田	1	京都嵯峨野の天龍寺にある塔頭慈濟院の玄閑脇の桜で、御所の御車返の一種です。慈濟院の管主稻葉心田の名前から、この名が付けられました。	北 A-24		
す	すいしょう 水 晶	1	花は白色で小輪ではありますが、気品が高く、花の外側は僅かに淡紅色を帯び、散る間際になると中心が紅色を帯びます。花弁数は20～50枚で、先端に切れ込みが多く変化に富んでいます。	南 P-4		
	すまうらふげんぞう 須磨浦普賢象	2	平成2年4月、兵庫県神戸市の須磨浦公園において「普賢象」の枝変わりとして発見されました。花色が黄緑色に変化したもので、開花終期には花弁の基部から赤色に変色します。	南 O-5	北 N-4	
	すみぞめ 墨 染	1	東京荒川堤にあった桜で、花は淡紅白色、直径は大きく4cm、一重の里桜です。若葉の色がやや暗い感じがするところから、この名が付けられました。	北 J-6		
せ	せんだいや 仙台屋	1	高知市内の仙台屋という店の庭に植えられていた桜で、牧野富太郎博士が名付けたといわれています。花は一重、淡紅紫色です。	北 A-13		
	せんりこう 千里香	2	東京荒川堤にあった桜で、芳香があるためこの名が付けられました。花は大輪白色です。	北 M-6	北 N-1	
そ	そのさときざくら 園里黄桜	1	長野県須坂市豊丘町梅ノ木地区で羽生田郁雄氏が発見した普賢象の枝変わり品種で、黄緑色に緑の筋が入った花を咲かせ、花弁数は30～50枚です。旧村名にちなんでこの名が付けられました。	南 B-5		
	そめいよしの 染井吉野	1	江戸末期頃、駒込染井村の植木屋が初めて出した品種と伝えられ、育成が早く接木が簡単なため、急速に日本各地に伝わりました。	北 J-22		
た	たいざんふくん 泰山府君	2	東京荒川堤にあった桜で、花が散るのを惜しんで泰山府君(中国の泰山の神)を祭り、花の命を長らえたという故事から、この名が付けられました。	南 C-6	南 K-3	
	たいはく 太 白	2	日本で品種がなくなり、昭和5年イギリスの桜の収集家イングラム氏から接穂が寄贈され、京都の佐野藤右衛門氏が接木育成したもので、一重白色大輪の名花です。	北 A-23	北 D-30	
	たおやめ 手弱女	2	京都平野神社境内にある桜で、花は淡紅色で中輪です。花弁数は15～20枚で、内に抱えるような形となり美しい桜です。	南 H-2	北 D-23	

	品種名	本数	花の説明	主な植樹場所		
	たかとおひがんざくら 高遠小彼岸桜	1	長野県高遠町の高遠城址にある県天然記念物に指定されている桜です。花はやや小ぶりの一重桜、花の色は濃い紅色で、枝が見えなくなるほど花を付けます。	南 E-1		
	たき かおり 瀧 香	2	東京荒川堤にあった桜で、つぼみは淡紅白色、花は白色で芳香があります。時には旗弁があります。	南 A-1	北 A-3	
	たぐいあらし 類 嵐	1	東京荒川堤にあった桜で、花は白色の一重で、花弁数は5枚程です。	北 C-1		
ち	ちはらざくら 千原桜	2	淡い緑を含む白色の花弁は、染井吉野の1.5倍と大きく、1本の小枝に一重と八重とが咲き乱れる様は、誠に見事です。	北 A-8	北 K-3	
	ちょうしゅうひざくら 長州緋桜	1	東京荒川堤で栽培された園芸品種です。花は大輪の半八重咲きで花びらは紫紅色、外縁がやや濃い色になっており、その数は5～10枚です。	南 M-9		
て	て まり 手 毬	2	古くからの桜で、江戸期の園芸書「花壇綱目」に記述があるとされており、花がまとまって付き、手毬のようになります。淡紅色の八重咲で、花弁数は10数枚です。	南 Q-2	北 C-12	
な	なじまざくら 名島桜	1	金沢市の旧制第四高等学校(現在の金沢大学)にあった桜です。花は淡紅色で、花弁数は100～200枚です。	北 A-22		
	な でん 南 殿	1	チョウジザクラと里桜との間に生じた桜と推定され、花は淡紅色で、花弁数は14～20枚です。	北 G-3		
	ならやえざくら 奈良八重桜	2	日本で最も古くからある八重桜で、昔より歌にも詠まれている有名な桜です。花は淡紅色で、開花が進むにつれ白色となり、花弁数は20～50枚です。	北 H-1	北 M-12	
に	にそんいんふげんぞう 二尊院普賢象	3	京都嵯峨野の二尊院にあった由緒ある名桜です。親木は枯死しましたが、京都の佐野藤右衛門氏の接木により後継樹が残っています。花は菊桜系で濃紅色で、花弁数は80～150枚あります。	南 B-15	南 C-15	北 J-12
	にどざくら 二度桜	2	1本の木に、一重、八重、二段咲きの花があり、二段咲きでは、外側の花が開花し、内側の花が遅れて開花するので、二度桜といえます。	南 I-6	北 N-3	
は	はな がさ 花 笠	4	北海道松前町で、「福祿寿」の実生の中から選出育成された大輪の美しい桜で、雌しべが葉化し、その形状が花笠に似ているので、この名が付けられました。花は紅色で、花弁数は30枚程です。	南 B-17	北 A-5	北 D-19
	はなぞめい 花染衣	2	北海道松前町で育成された桜で、花見時の衣装である花染衣(ハナゾメゴロモ)にちなみ、この名が付けられました。花は淡紅色の八重咲き、直径4.5cmの大輪で、花弁数は40～60枚です。	北 D-6	北 J-11	
	はやしいちごう 林一号	3	仙台の植木屋林氏が初めて育成した新しい八重桜で、花弁数は25～30枚です。花は淡桃色で楊貴妃に似ています。	南 P-6	北 N-2	
	はやしにごう 林二号	2	林一号に続き育成された八重桜で、花弁数は15～18枚です。花は淡紅紫色をしています。	南 D-3	北 O-2	
	ばんりこう 萬里香	1	東京荒川堤にあった桜で、香りが良いのでこの名が付けられました。花弁数は20～25枚です。	北 E-4		
ひ	ひ ぐらし 日 暮	1	東京荒川堤にあった品種で、花は外側の花弁の先端と外面は淡紅紫色、内側の花弁はほとんど白色です。花弁数は20枚程です。	北 O-7		
	ひ ざくら 緋 桜	1	花は大輪濃紅色で、花弁数は30枚程です。	南 I-12		
	ひよしざくら 日吉桜	1	滋賀県坂本の日吉神社境内にある赤茶芽の山桜です。花は淡紅色で、直径3.5cm、花弁数は30枚程です。	北 D-16		
	ひらのいもせ 平野妹背	1	京都平野神社境内にあった桜です。花は紫味を帯びた淡紅色で、開花につれ淡紅白色になります。花弁数は22～25枚で、花は横向き又は下向きに咲きます。	南 C-13		
	ひらのなでしこ 平野撫子	3	京都平野神社境内にあり、花弁に撫子の花のように切り込みがあることから、この名が付けられました。花は淡紅色で、花弁数は40枚程です。	南 M-8	北 E-3	
	ひらのねざめ 平野寝覚	1	京都平野神社境内にある桜で、花は白色です。	北 A-7		
ふ◎	ふくるくじゅ 福祿寿	3	東京荒川堤にあった大島桜系の里桜で、花は淡紅色で、花弁は波打つようなしわがあり、かたい感じがあります。花弁数は15～20枚あり、大輪として代表的なものです。	南 I-2	南 K-8	北 G-7
	ふげんぞう 普賢象	10	室町時代から京都地方にある有名な桜で、花の中から葉化した二つの雌しべが突き出し、その先端が屈曲します。その状態が、普賢菩薩の乗る象の鼻に似ているので、この名が付けられました。花は淡紅色で、開花が進むにつれ白色となり、花弁数は20～40枚です。	南 B-8	南 F-1	北 C-8
	ふだんざくら 不断桜	1	三重県白子町(現在の鈴鹿市)の子安観音寺境内にある有名な桜で、10月から翌年4月下旬まで開花します。特色は寒中でも葉が落ちないことで緑葉と紅葉が混じり、また若葉が絶えず出ます。花は一重咲きの白色です。	北 I-7		
へ	べに がさ 紅 笠	3	北海道松前町で、「糸括」の実生の中から選出育成された桜です。花は淡紅色で、直径5～6cmもある大輪で、花弁数は50～60枚です。	南 P-2	北 A-9	北 C-7
	べにしぐれ 紅時雨	3	北海道松前町で、「東錦」の実生の中から選出育成された桜です。紅色の豊かな花が垂れ下がり咲くことから、この名が付けられました。花は濃紫紅色で、花弁数は28～40枚です。	南 G-2	南 M-2	北 D-5
	べにたまにしき 紅玉錦	3	北海道松前町で、「八重霞桜」と里桜の交配から選出育成された桜で、つぼみが紅の玉のようになり、花が球状になります。花は淡紅色の大輪で、花弁数は40～50枚です。	南 G-4	北 A-6	北 D-24

	品種名	本数	花の説明	主な植樹場所		
	べにぎょうちん 紅提灯	3	花の色は淡紅色です。つぼみは濃紅色で咲きはじめは紅色となり開花が進むと紅色から淡紅色となります。花弁数は30枚前後です。	南 C-4	北 O-8	
	べにてまり 紅手毬	5	多数の花が枝の先に密生して咲き、花が赤い手毬の状態となることから、この名が付けられました。	南 K-4	北 D-43	北 K-1
	べになでん 紅南殿	1	京都の佐野藤右衛門氏が栽培していた桜で、花は紅紫色です。	南 E-2		
	べに ゆたか 紅豊	3	北海道松前町で育成された桜です。花は濃紅色で豊かな重弁(花弁数約15枚程)の桜となったので、この名が付けられました。	北 E-11	北 H-6	北 O-5
ほ	ほうきざくら 箒桜	1	「ヤマザクラ」と「シナミザクラ」との間に生じた桜と考えられます。竹箒を逆さに立てたような樹形を作ります。花径3cm程の花は淡紅色の長楕円形で、花弁数は20～30枚です。	北 I-1		
	ほうみょうじ 法明寺	3	京都府美山町の法明寺境内にあった名桜を京都の佐野藤右衛門氏が接木育成し、命名しました。花は淡桃白色です。	南 C-20	南 I-8	
	ほ たて 帆立	2	花は白色で、雄しべの1～2本が花弁化して、帆を立てたような形をしているところから、この名が付けられました。	南 C-7	北 J-1	
	ぼ たん 牡丹	2	大島桜系の里桜で、花はふっくらした牡丹の花を思わせるような淡紅色の優雅な大輪で、花弁数は15枚程あります。	南 K-9	北 C-3	
ま	まつ まえ 松前	2	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が「糸括」の実生から選抜した美しい里桜です。花のつぼみは濃紅色、開花後紅色、花径5～5.5cmと大輪の花で、花弁数は35～42枚です。	南 Q-1	北 O-4	
	まつまえうすべにこのえ 松前薄紅九重	2	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が「ココノエ」と「カスミザクラ」との交配から育成した桜で、花は淡紅色で花つきが良く、花弁数は12～15枚です。	南 H-4	南 P-1	
	まつまえこといとざくら 松前琴糸桜	2	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が昭和34年北海道松前町で嵯山家の庭にあった無名の八重桜の大木の種子から作り出した桜です。花弁数は40～45枚で、開花後紅色から淡紅色となります。	南 I-1	北 D-34	
	まつまえはなみやこ 松前花都	1	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が「糸括」に「松前早咲」を交配育成した桜で、花は大輪淡紅色の八重咲きで、花弁数は20～25枚です。	南 B-2		
	まつまえべにむらさき 松前紅紫	1	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が「江戸」と里桜を交配育成した桜です。花のつぼみは濃紅紫色で、開花後に紅紫色となります。花径4.5～5.5cmの大輪の花が枝に鈴なりに付き、下向きに咲く美しい桜で、花弁数は35～45枚です。	南 I-15		
	まつまえやえことぶき 松前八重寿	1	北海道松前町の桜研究者浅利政俊氏が「糸括」と里桜との交配から選出育成した桜で、花は淡紅紫色で外側の花弁の先端や外面は濃く、花弁数は13～20枚です。	北 D-2		
み	みくろまがえし 御車返	2	京都御所にあった里桜の一種です。後水尾天皇がこの花の前を通られたところ、花が余りにも美しかったので、再びお車を返してご覧になったという故事により、この名が付けられました。花は淡紅白色です。	南 B-16	北 D-17	
	みやこにしき 都錦	3	京都御所に元々あった桜とされ、花は淡桃白色で、花弁数は20枚程です。	南 L-9	北 F-3	北 J-18
や	やえあけぼの 八重曙	2	花は淡紅色で、花弁数は11～17枚、部分により濃淡があります。芳香に富んでいます。	南 I-11	南 M-4	
	やえべにおおしま 八重紅大島	2	花は淡紅色の八重咲き、大島桜系の一品種で、花弁数は26～35枚、少し香りがあります。	北 D-41	北 H-9	
	やえべにしだれ 八重紅枝垂	1	仙台の伊達家にあった桜で、明治初年仙台市長の遠藤氏が植えたため「遠藤桜」とも呼ばれています。花は真紅の八重で花弁数は15枚程あり、極めて美しい桜です。	北 L-4		
	やえべにとら お 八重紅虎の尾	4	古くから京都で栽培されていた桜といわれ、その咲く有様は虎の尾のような形をしていることから、この名が付けられました。花は淡紅色で、花弁数は25～30枚です。	南 C-10	南 C-18	北 J-13
	やえむらさきざくら 八重紫桜	2	紫桜の重弁の品種です。三好学氏が小石川植物園において紫桜の実生を栽培したところ、重弁のものが生じたので、この名が付けられました。	南 C-9	南 C-22	
	やまこしむらさき 山越紫	1	典型的な山桜系の桜で、花は濃紅色の一重です。	南 P-3		
ゆ	ゆう ぐれ 夕暮	2	花は大輪の淡桃色で、夕暮れに美しいといわれています。花弁数は10枚程ある里桜で、芳香があります。	南 M-6	北 F-9	
よ	ようき ひ 楊貴妃	3	昔、奈良地方にあった桜で、つぼみは紅色ですが、開花時には淡紅色となり、花色も優れ豊満なので、中国の楊貴妃を連想して世人が名付けました。花弁数は20枚程です。	南 F-2	北 F-4	北 F-10
	ようろうざくら 養老桜	2	直径3cmの白色の花で、花弁数は5～8枚の一重八重桜です。	北 O-1		
ら	らん らん 蘭 蘭	3	北海道松前町で、「白蘭」と「雨宿」との交配から選出育成された桜です。北海道松前の子供達が上野動物園のパンダ「蘭蘭」の死を悼んだことと、花が密集して咲き、その付き方がふくよかでパンダの毛並みに似ていることからこの名が付けられました。花は白色に近く、花弁数は15～20枚です。	南 C-19	南 I-5	北 D-33
ろ	ろっこうぎく 六高菊	1	花は淡紅白色で菊桜の系統です。旧制第六高等学校(現在の岡山大学)の校庭にあったところから、この名が付けられました。	南 B-7		
合 計				138品種	335本	

投票対象となる桜の概略配置図



投票対象の桜の木は、
全部で17種類49本あります。

- | | |
|---------|----------|
| ①御衣黄 | ②6紅華 |
| ②妹背 | ②7妹背 |
| ③平野撫子 | ②8都錦 |
| ④八重紅虎の尾 | ②9九重 |
| ⑤普賢象 | ③0松月 |
| ⑥紅時雨 | ③1松月 |
| ⑦平野撫子 | ③2平野撫子 |
| ⑧紅華 | ③3紅華 |
| ⑨都錦 | ③4市原虎の尾 |
| ⑩松月 | ③5市原虎の尾 |
| ⑪普賢象 | ③6蘭蘭 |
| ⑫松月 | ③7妹背 |
| ⑬紅華 | ③8御衣黄 |
| ⑭紅時雨 | ③9紅玉錦 |
| ⑮大手毬 | ④0花笠 |
| ⑯紅玉錦 | ④1九重 |
| ⑰御衣黄 | ④2八重紅虎の尾 |
| ⑱花笠 | ④3都錦 |
| ⑲二尊院普賢象 | ④4紅時雨 |
| ⑳九重 | ④5二尊院普賢象 |
| ㉑普賢象 | ④6八重紅虎の尾 |
| ㉒蘭蘭 | ④7大手毬 |
| ㉓朱雀 | ④8妹背 |
| ㉔御衣黄 | ④9普賢象 |
| ㉕朱雀 | |

大川(旧淀川)

みんなで「今年の花」を選ぼう!

今回の桜の通り抜けは、令和になって初めての開催となることから、今年の花を投票で選ぶことといたしました。

対象となる桜は**17種類**です。合計**49本**の桜の木に2次元バーコードが表示されたプレートを設置しています。

それぞれの桜を見て、「いいな」と思ったら、**2次元バーコードを読み取って投票**してください。

複数の桜の木に投票いただいても構いません。

一番多くの投票を得た桜を令和**5年**の「今年の花」に選定いたします。^(※)



2次元バーコードの配置イメージ。
目立つように鉄柵に紅白のテープを貼っています。



2次元バーコードのプレート上部に、入口から出口に向けて、1~49番までのシリアル番号を付けています。

(※) 通り抜けの桜に親しみを持っていただくため、通り抜け会場にある桜の中から1種類の桜を「今年の花」として選んでいます。

大阪観光スペシャルサポーター

NMB48による場内アナウンス!



小嶋花梨さん



渋谷凧咲さん



上西怜さん

©NMB48

NMB48が場内アナウンス(録音)で通り抜けを盛り上げてくれます!

通り抜けスペシャル動画!

通り抜けをテーマとしたスペシャル動画を造幣局公式YouTubeで公開します!
是非ご覧ください!



造幣局公式 **YouTube**

JAPAN MINT

独立行政法人 造幣局

〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79
(URL) <https://www.mint.go.jp/>



2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)
開催期間:2025年4月13日(日)
~10月13日(月)184日間
開催場所:大阪 夢洲(ゆめしま)
(URL) <https://www.expo2025.or.jp/>